

厚木市荻野運動公園指定管理者の候補者選定結果について

1 施設の概要

- (1) 名称 厚木市荻野運動公園
- (2) 所在地 厚木市中荻野1500番地
- (3) 施設の設置目的

厚木市荻野運動公園は、競技場、体育館、プール及びテニスコートなど本格的な運動施設並びに市民の誰もがスポーツや各イベント活動等に積極的に参加できる多目的広場、更に現存する豊かな植生を活かした野草園及びあつぎこどもの森公園、これらを主体とした総合的なスポーツ・レクリエーション及びコミュニティの憩いの場として整備有効活用を図っていくことを目的とします。

2 公募及び選定の経過

- (1) 募集要領の配布期間
令和元年7月1日（月）から7月19日（金）まで
- (2) 現地説明会
令和元年7月10日（水）
- (3) 質問受付期間
令和元年7月1日（月）から7月12日（金）まで
- (4) 応募書類の受付期間
令和元年7月22日（月）から8月5日（月）まで
- (5) 書類審査
令和元年8月26日（月）
- (6) ヒアリング審査
令和元年10月2日（水）
- (7) 経営会議
令和元年10月18日（金）

3 指定管理の期間

令和2年4月1日から令和7年3月31日まで（5年間）

4 応募団体（申請順）

4 団体

- ・ A 団体
- ・ チーム厚木共同事業体
- ・ 荻野運動公園マネジメント共同企業体

【株式会社オリエンタルコンサルタンツ、静岡ビル保善株式会社、株式会社朝日美装、株式会社富士植木】

- ・ B 団体

5 指定管理者候補者名及び次点者名

(1) 指定管理者候補者

荻野運動公園マネジメント共同企業体 採点結果 728点

(2) 次点者

チーム厚木共同事業体 採点結果 592点

6 採点結果

(1) 書類審査（得点順）

審査対象団体名 審査項目（配点・基準点）	荻野運動公園マネジメント共同企業体	チーム厚木共同事業体	A 団体	B 団体
1 組織経営の安定性 (90 点・54 点)	75	63	39	45
2 施設の適正な管理運営の基本的な理念 (60 点・36 点)	48	36	40	36
3 関係法令や条例等の遵守に係る体制の整備、環境方針への配慮の考え方 (60 点・36 点)	52	36	38	36
4 保安・警備計画 (60 点・36 点)	48	38	36	34
5 維持管理業務の基本的な考え方 (60 点・36 点)	46	36	40	39
6 業務水準の維持、向上方策 (90 点・54 点)	75	57	60	51
7 管理経費 (120 点・72 点)	84	80	64	60
8 実施事業計画 (60 点・36 点)	48	44	42	36
採点合計 (600 点・360 点)	476	390	359	337

※点数は、選定評価委員会委員 6 人の合計点

(2) ヒアリング審査（得点順）

審査対象団体名 審査項目（配点・基準点）	荻野運動公園 マネジメント 共同企業体	チーム厚木共同 事業体	A団体
1 施設の適正な管理・運営の 基本的な理念(60点・36点)	56	40	44
2 保安・警備計画 (60点・36点)	48	42	36
3 実施事業計画(60点・36点)	50	46	40
4 業務水準の維持、向上方策 (60点・36点)	48	36	38
5 維持管理業務の基本的考え 方(60点・36点)	50	38	44
採点合計（300点・180点）	252	202	202

※点数は、選定評価委員会委員6人の合計点

※書類審査の結果、B団体はヒアリング審査を実施していない。

7 選定理由

厚木市指定管理者選定評価委員会において、書類審査及びヒアリング審査を行い、様々な観点から評価した結果、厚木市荻野運動公園の現状と課題を的確に把握し、今後の施設の管理・運営に対し、現実的かつ前向きな提案がなされているほか、同施設の管理・運営における豊富な実績や安定性、市と連携しながら同施設を主体的に管理・運営していく意欲などが高く評価できることから、採点結果が最も高い「荻野運動公園マネジメント共同企業体」を指定管理者の候補者に選定したものである。

また、構成団体が、他自治体において、指定管理者としてスポーツ施設の運営に一定のノウハウ・実績を有し、採点結果が2番目に高い「チーム厚木共同事業体」を次点者として選定したものである。

8 候補者及び次点者の提案内容に係る主な意見

候補者「荻野運動公園マネジメント共同企業体」

- ・これまでの運営実績と経験を反映した現実的かつ前向きな提案がなされており、高く評価できる。
- ・実現可能性が高い計画が立案されており、より良い施設運営が期待できる。
- ・厚木市における荻野運動公園の位置づけを正しく理解できている。
- ・過去の実績を踏まえ、施設の現状や課題の把握が的確に出来ている。
- ・事業者自らの投資（5年間で約4,000万円）で無料送迎バスを導入するなど、単なる施設管理者ではなく、厚木市のパートナーとして主体的に公園を管理・運営していく意欲が感じられた。

次点者「チーム厚木共同事業体」

- ・町田市における指定管理者としての実績を踏まえ、公園の管理・運営に係る課題を的確に捉えている。
- ・代表団体である「株式会社ギオン」の拠点を活かした、有事の際の人的・物的の支援の方策は期待できる。
- ・スポーツ施設の運営に関し一定のノウハウ・実績があり、施設運営の提案として過不足はなかった。
- ・応募書類やプレゼンテーションの完成度は高く、他自治体における指定管理の実績に基づいた提案がなされていた。一方、荻野運動公園の特性や厚木市における位置づけを踏まえた提案が弱く、公園をどのように管理・運営していきたいかという意欲をあまり感じられなかった。